

祇園新橋 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

2018年(平成30年)
1月

Vol.31

発行：祇園新橋まちづくり部

TEL:090-1918-4249(富田)

Email:gionshinbashitatumi@gmail.com

HP: <http://gion-shinbashi.blog.jp/>

第38回 意見交換会のご案内

昼食会～祇園新橋の正月料理

『おせち料理の次に正月に食べるもん』を探ります！

【日時】2018年1月9日(火)午後12時30分～2時

【場所】「登希代の1かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【会費】1500円(昼食代)申込は不要です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

景観 お正月飾り

今年の4月から、景観についての事前協議が始まります。そのためベースとなる景観づくり計画書の作成をすすめていますが、どうしても「景観」という言葉だけでは判断基準が捉えにくいものです。

そこで今回から、具体的にまちかどの風景をピックアップして、その中から祇園新橋らしい「いいね！」を皆さんとたくさん増やしていきたいと思えます。

第1回はお正月飾り。門松、のれん、幔幕を中心に集めてみました。(祇園新橋地域外も含まれます)なお、今後も、皆さんの建物の前でパシャパシャ写真を撮ったり、ニュース等で掲載いたしますが、ご理解よろしくお願いいたします m(_ _)m



辰巳大明神寒供養祭のご案内

この1年の【無病息災・商売繁盛】を祈願いたします m(_ _)m

【日時】2018年1月20日(土)午後1時～

【準備】午前10時から(1時間ほど)

【片付】午後1時半から

(終了後、足洗としてお雑煮をご用意します)

報告

意見交換会<知っておきたい！祇園新橋のしきたり>

第37回意見交換会では「知っておきたい！祇園新橋のしきたり」をテーマに、岡あいの女将さんから、祇園新橋と花街の年中行事やしきたりについてお話を伺いました。そこから「都おどりの提灯はどこに頼むのか？」「昔は辰巳さんの前で盆踊りをしていた」など、長年住んでいても知らないことから思い出話まで話題は尽きませんでした。

祇園新橋の記憶を残していくことで、祇園新橋らしさを守り、そして地域への愛着につなげていきたいです。



12月12日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は15名でした。

【意見交換メモ】

「知っておきたい！祇園新橋のしきたり」

12月：事始め・お正月準備

- ・13日 事始め。来年もよろしゅうお願いしますの挨拶。お鏡餅を持って、お師匠、お茶屋のお女将さんなどをまわる。
- ・大祓人形 31日に八坂神社で大祓式が行われる。
- ・正月準備は、30日が多い。一夜飾りはアカンということで、30日に飾り始める。
- ・玄関の柱の門松は、根曳きの松が多い。半紙と水引で巻いたものを飾る。

1月：小正月・寒供養祭

- ・7日 始業式。
- ・13日 初寄り。
- ・どんど焼きが15日なので、そこで門松や根曳き松を焚き上げる。朝に八坂さんの古札所にいれておく。
- ・寒供養は大寒の前後。1月の下旬くらい。

2月：節分・初午祭

- ・節分の日 お化け。にぎやかにやっている。以前はお客さんもやったりしてた。最近は日向ひょっとこ踊りが回ってくる。心付けは自由。
- ・初午祭。立春過ぎてから初めての午の日だが、寒供養と日が近いので、1ヶ月くらい空けるために、実際は二の午くらいにやっている。

4月：都をどり

- ・提灯は、歌舞練場に保証金（最初に5000円）を払えば、準備も回収も業者が継続してやってくれる。

6月：放生会

- ・第1日曜日に巽橋で。阿闍梨さんが来られる。赤山禅院がお世話されていて20年以上続いている。
- ・大祓人形 30日に八坂神社で大祓式が行われる。

7月：祇園祭・土用供養祭

- ・1日～31日。祇園祭の提灯は、各自で付ける。
- ・団子なしが祇園新橋の標準で、祇園南には団子が入っているらしい。
- ・のれんは夏用と冬の2種類ある。夏用は麻製。のれんは、16・17日の、前祭の時期にかける。
- ・幔幕は、祇園新橋ではあまり見かけない。
- ・土用供養：あんころもちを配る。因みに、お火焚きはお火焚き饅頭で饅頭が違う。

8月：お盆・地藏盆

- ・1日 八朔
- ・15・16日はのれんをかける。
- ・地藏盆、本当は決まった日があるが第3日曜日頃の土日にしている。
- ・末吉町は、道で子ども相撲大会をやっていた。
- ・元吉町では盆踊りもあった。劇もやっていた。30人くらい子どもがいた。

10月：温習会

- ・都をどりと提灯が違う。業者がやってくれるのは都をどりと同じ。

11月：かにかくに祭・お火焚祭

- ・かにかくに祭は、祇園甲部組合主催。茶席もある。
- ・かにかくにの碑：昔は碑の上にまたがったりしていた。今は観光客が乗っていたら怒るけど(笑)
- ・お火焚き祭は、11月中旬～下旬。護摩木を焚く。
- ・焼きみかんとおこし。お稻荷さんの氏子町は焼きみかんが多いらしい。